

2024 年度 横浜みどりアップ計画実績報告書
【別冊】

—みんなで育む みどり豊かな美しい街 横浜—

**横浜みどりアップ計画の評価・提案
【案(抜粋)】**

横浜みどりアップ計画市民推進会議 2024 年度報告書

**横浜みどりアップ計画市民推進会議
2025 年〇月**

目 次

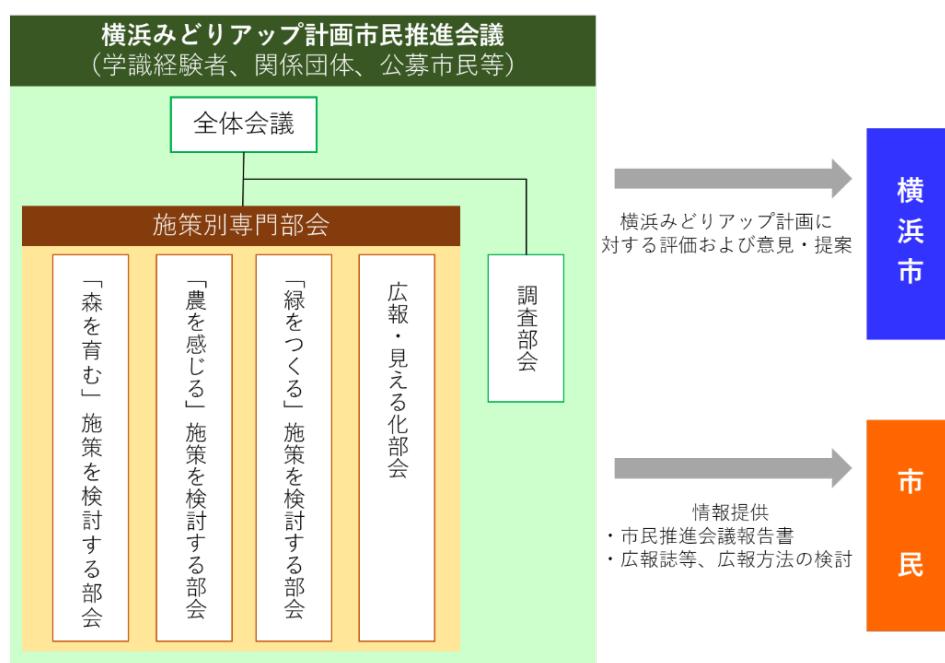
1 はじめに	1
2 横浜みどりアップ計画市民推進会議について	○
3 市民推進会議 2024～2025 年度の活動実績	○
(1) 活動の概要	
(2) 活動の詳細内容	
ア 市民推進会議（全体会議）	
イ 施策別専門部会	
ウ 広報・見える化部会	
エ 調査部会（現地調査）	
4 みどりアップ計画の評価・提案	○
◆計画の体系	
(1) 計画の柱 1 市民とともに次世代につなぐ森を育む	○
施策 1 まとまりのある樹林地の保全・活用	
(2) 計画の柱 2 市民が身近に農を感じる場をつくる	○
施策 1 農に親しむ取組の推進	
施策 2 「横浜農場」の展開による地産地消の推進	
(3) 計画の柱 3 市民が実感できる緑や花をつくる	○
施策 1 市民が実感できる緑や花の創出・育成	
施策 2 ガーデンシティ横浜の更なる推進	
(4) 効果的な広報の展開	○
市民の理解を広げる広報の展開	
(5) その他事項に対する評価・提案	○
5 市民推進会議委員名簿	○
6 市民推進会議委員からのコメント	○
7 広報・見える化部会からの情報提供	○

2 横浜みどりアップ計画市民推進会議について

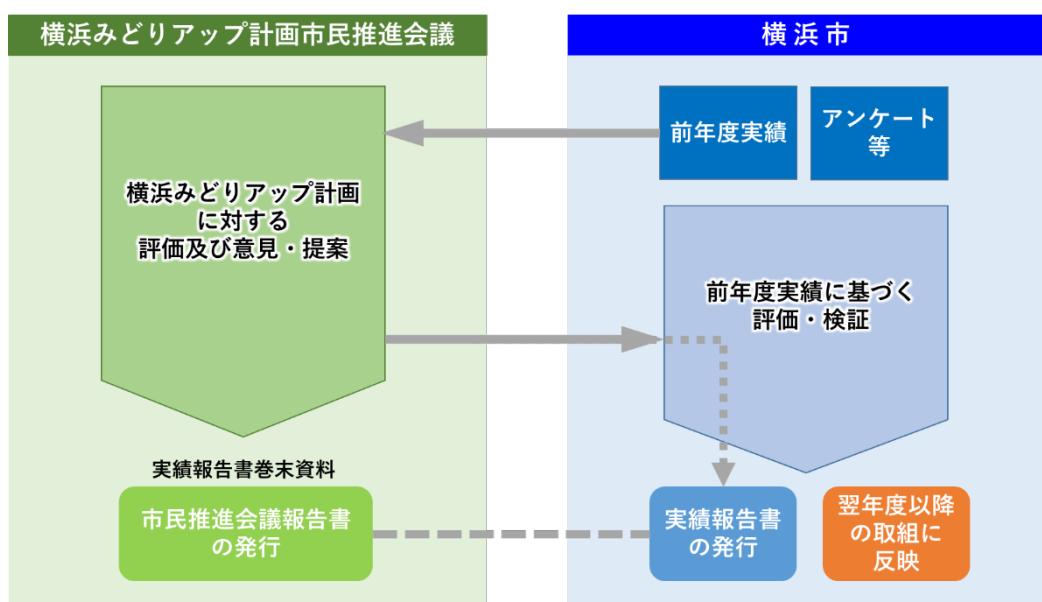
横浜みどりアップ計画市民推進会議は、市民参加の組織により、横浜みどりアップ計画の評価及び意見・提案、市民への情報提供等を行うことを目的として、2009年に設置され、2012年からは条例設置の附属機関に位置付けられました。これまでに全体会議や施策別専門部会の開催に加え、参加市民を公募したオープンフォーラムや現地調査を実施し、市民意見の聴取にも努め、計画の評価・提案を行ってきました。

市民推進会議でいただいた計画の評価・提案は報告書としてとりまとめ、翌年度以降の取組に反映します。

なお、2024年度からは新たな委員も含め、学識経験者や関係団体、町内会・自治会代表、公募市民の計17名で活動しています。(○頁に委員名簿を掲載)



実績検証の体系図



(2)計画の柱2 市民が身边に農を感じる場をつくる

良好な景観形成や生物多様性の保全など、農地が持つ環境面での役割や機能に着目した取組、地産地消や農体験の場の創出など、市民と農の関わりを深める取組を展開します。

施策1 農に親しむ取組の推進

事業① 良好的な農景観の保全

- (1)水田の保全
- (2)特定農業用施設保全契約の締結
- (3)農景観を良好に維持する活動の支援
- (4)多様な主体による農地の利用促進

事業② 農とふれあう場づくり

- (1)様々な市民ニーズに合わせた農園の開設
- (2)市民が農を楽しみ支援する取組の推進

実績報告書関連ページ

●取組の評価・検証

p.〇〇～p.〇〇

●各区の実績

p.〇〇～p.〇〇



事業① 水田の保全(青葉区)



事業①農景観保全整備
(土砂流出防止対策)(都筑区)



事業② 柴シーサイド恵みの里
じゃがいも堀り(金沢区)



事業② 市民農業大学講座
ブドウの管理作業(保土ヶ谷区)

◆施策1についての評価・提案

事業①について

【水田の保全、特定農業用施設保全契約】

- ・水田の持つ生産機能に加え、生物多様性の保全などのさまざまな機能を発揮していくためにも、保全すべき水田を今後も残せるよう支援の継続をお願いします。

【農景観を良好に維持する活動の支援】

- ・良好な農景観は、農家の耕作や管理により成り立っていることを市民に理解していただけるよう、広報や見せ方を工夫してください。

【多様な主体による農地の利用促進】

事業②について

【様々な市民ニーズに合わせた農園の開設】

【市民が農を楽しみ支援する取組の推進】

- ・農のコーディネーター事業では学校現場で横浜の都市農業を体感してもらう機会を提供していますが、そこをきっかけに、子どもたちの関心が樹林地や縁などへ広がることも考えられますので、他の取組とも連携しながら進めてください。

施策2 「横浜農場」の展開による地産地消の推進

事業③ 身近に農を感じる地産地消の推進
(1) 地産地消にふれる機会の拡大

事業④ 市民や企業と連携した地産地消の展開
(1) 地産地消を広げる人材の育成・支援
(2) 市民や企業等との連携

実績報告書関連ページ

●取組の評価・検証

p.〇〇～p.〇〇

●各区の実績

p.〇〇～p.〇〇



事業③にいはる長屋門朝市
(緑区)



事業③11月地産地消月間における
キャンペーン



事業④はまふうどコンシェルジュ講座における
農作業体験(泉区)



事業④横浜赤レンガと連携した
「おいも万博」における
街なか収穫体験の実施(中区)

◆施策2についての評価・提案

事業③について

【地産地消にふれる機会の拡大】

- ・地域でとれた農畜産物やその加工品などが集まるマルシェは大変良い取組のため、さまざまな地域でできるよう、さらなる支援の検討をお願いします。
 - ・他区局とも連携し、さまざまな媒体で PR が実施されていますが、今後は効果検証も踏まえた広報についても検討してください。

事業④について

【地産地消を広げる人材の育成・支援】

【市民や企業等との連携】

「農を感じる」施策を検討する部会 部会長コメント

.....

(5)その他事項に対する評価・提案

◆委員からの意見の反映について

- ・市民推進会議から評価・提案はこれまで行ってきましたが、それがどのように計画に反映されているのかが不明瞭に感じます。計画への反映方法とその見せ方を整理する必要があるのではないか。

◆報告書の構成について

- ・みどりアップ計画実績報告書及び市民推進会議報告書の構成の見直しは非常によい取組です。今後も常に現状の見直しを行い、より良い方法を模索し続けてください。

◆実績の評価・検証について

- ・目標値を達成できなかった取組については、その原因を検証し、目標値と予算の妥当性等も含めて検討が必要です。市民推進会議においても、今後議論していくべきだと考えます。

6 市民推進会議委員からのコメント

市民推進会議の委員を務めてきたなかで感じたことや、生活の中で、縁について日ごろ各委員が感じたことについて、委員の皆さまからもコメントをいただきました。

委員ごとにコメントをいただきます。



横浜みどりアップ 葉っびー

2025年〇月発行
横浜みどりアップ計画市民推進会議